



“ひろい”海の活動

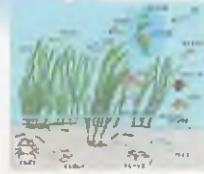
「海中の様子や生きもののこと知っていますか？」

「海の生きものにとってゴミはどんな存在でしょう？」

「アマモ(海の環境を良くする海草)が増えると海の生きものが育ちやすい環境に変わります！」

「アマモの苗(団子)づくりと投入体験」、海岸のゴミをひろう「クリーンアップ活動(海岸清掃)」をします

ダイバーと“アマモ”の森をつくりましょう！



日 時 11月30日(日)9:30受付開始

10:00スタート、13:30解散

集合時間 芝生広場側海岸に集合…9:30

姪北公民館に集合…9:00

場 所 小戸公園 ※雨天決行 ※荒天の場合は中止

対 象 小・中学生～大人

持つくるもの タオル・飲み物・着替え

スケジュー
ル

- ①アマモの苗(団子)づくり
- ②アマモ投入 ※ダイバーが苗の植付けをします
- ③クリーンアップ活動(海岸清掃)
- ④公民館に移動後、ふりかえり学習及び昼食・交流

保護者の方へ

水に濡れていい服装でお越しください

・指導は CPR&レスキュー有資格者が行います

11月23日(日)までに姪北公民館(TEL 895-1075)に申込んでください

熱がある、風邪の症状がある、家族に具合が悪い人がいるときは、ご遠慮ください



アマモの苗づくりと投げ入れ体験 海岸のゴミのクリーンアップ活動

11月23日(日)までに姪北公民館に直接申し込んでください 895-1075

アマモについて

アマモの草原は「アマモ場」と言われ、魚やイカが卵を産み付けるなど、多種多様な生き物たちにとって繁殖や生活の基盤となる大切な場所で「海のゆりかご」とも呼ばれています。



↑流されないよう、アマモをくわえて寝るアミメハギ。右下にはハゼの姿も

昨今の地球温暖化や多発する台風のため、あちこちでアマモが無くなり、増やそうとしているのだけれど、もはや種を探るのも困難だそう。事態は深刻です。

以上 BEYOND THE SEA のサイトより引用
<https://tamie.jp/japan/yokohama/amamo-fall/>